



各学年の実践

学年	第1学年
研究との関連	<input type="checkbox"/> 「高崎算数スタイル5+30+10」 <input checked="" type="checkbox"/> 「8つの工夫」 (反復・視覚化・音声化・動作化・明確化・ 個別支援 ・学び合い・賞賛/称賛) <input checked="" type="checkbox"/> 「高崎学び合いモデル」 <input type="checkbox"/> 「高崎スタイル10の約束事」 () 番
実践内容	<p>【教科】：算数科 【内容】：「高崎学び合いモデル」に沿った話型の提示 【成果 (○) や課題 (●)】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="405 689 860 1003"> </div> <div data-bbox="1007 562 1377 1003"> </div> </div> <p>○ 計算の仕方について、ノートに書いたことを順序立てて文で説明できるよう、話型の提示を行った。説明が難しい児童には、必要な数字を当てはめて話すようにヒントカードとしても活用した。話型を提示することにより、聞き手を意識した発表ができるようになった。</p>

学年	第1学年
研究との関連	<input type="checkbox"/> 「高崎算数スタイル5+30+10」 <input checked="" type="checkbox"/> 「8つの工夫」 (反復・視覚化・音声化・動作化・明確化・個別支援・ 学び合い ・賞賛/称賛) <input checked="" type="checkbox"/> 「高崎学び合いモデル」 <input type="checkbox"/> 「高崎スタイル10の約束事」 () 番
実践内容	<p>【教科】：算数科 【内容】：ペアや全体での話し合いによる学び合いの場の設定 【成果 (○) や課題 (●)】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="248 1637 628 1917"> </div> <div data-bbox="639 1637 1015 1917"> </div> <div data-bbox="1034 1637 1414 1917"> </div> </div> <p>○ 個人で調べた後に、ペアで伝え合い、全体に発表するという流れで学び合う学習活動を行った。「高崎学び合いモデル」に沿った話型を示したことで、積極的にペア学習に取り組み、互いの考えを伝え合うことができた。</p>

各学年の実践

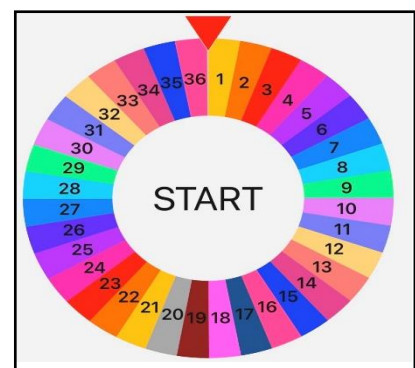
学年	第2学年
研究との関連	<input type="checkbox"/> 「高崎算数スタイル5+30+10」 <input type="checkbox"/> 「8つの工夫」 (反復・視覚化・音声化・動作化・明確化・個別支援・学び合い・賞賛/称賛) <input type="checkbox"/> 「高崎学び合いモデル」 <input checked="" type="checkbox"/> 「高崎スタイル10の約束事」 (②) 番
実践内容	<p>【教科】：算数科 【内容】：問い返しや切り返しをして、教師や友達の話聞く習慣を付けた。 【成果 (○) や課題 (●)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教師の話や友達の発表をもう一度説明させたり問い返したりすることで、意欲的に人の話を聞こうとする態度が見られた。 ○ 友達の説明を繰り返して説明できたときに、称賛することで自信をもたせたり、どのように話を聞けばよいのかをイメージさせたりすることができた。 

学年	第2学年
研究との関連	<input type="checkbox"/> 「高崎算数スタイル5+30+10」 <input type="checkbox"/> 「8つの工夫」 (反復・視覚化・音声化・動作化・明確化・個別支援・学び合い・賞賛/称賛) <input type="checkbox"/> 「高崎学び合いモデル」 <input checked="" type="checkbox"/> 「高崎スタイル10の約束事」 (⑦) 番
実践内容	<p>【教科】：算数科 【内容】：習熟の時間は必ず5分以上設定する。 【成果 (○) や課題 (●)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の最後には必ず習熟の時間を設けるようにした。教科書の練習問題や問題集、インターネットのフラッシュ型教材を活用し、その日の内容の習熟を図った。 ○ その日に学習したことをしっかりと定着させるために十分な時間を習熟に充てられるように授業を計画した。問題を解くことに時間を要する児童も、習熟の時間をしっかりと確保したことで、少しずつ学習内容を理解することができた。 <p>● 1単位時間内に習熟の時間が確保できず、次の時間や休み時間にかかったこともあったので、時間配分の工夫が必要である。</p> 

各学年の実践

学年	第3学年
研究との関連	<input type="checkbox"/> 「高崎算数スタイル5+30+10」 <input checked="" type="checkbox"/> 「8つの工夫」 (反復・視覚化・音声化・動作化・明確化・個別支援・学び合い・賞賛/称賛) <input type="checkbox"/> 「高崎学び合いモデル」 <input type="checkbox"/> 「高崎スタイル10の約束事」 () 番
実践内容	<p>【教科】：算数科 【内容】：フラッシュカードで教科書の類似問題に取り組ませた。 【成果(○)や課題(●)】</p> <p>○ フラッシュカードを見ながら何度も唱えることで、説明の仕方を定着させることができた。 ○ 教科書の練習問題に入る前に、フラッシュカードで確認することで、フラッシュカードを参考にしながら教科書の問題に取り組むことができ、苦手な児童も主体的に取り組めた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">1800mは何km何mですか？</p> <p>1800mは、1000mと mに分けられます。 1000mは kmなので、 1800m = km mです。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">1800mは何km何mですか？</p> <p>1800mは、1000mと 800mに分けられます。 1000mは 1kmなので、 1800m = 1km800mです。</p> </div> </div>

学年	第3学年
研究との関連	<input type="checkbox"/> 「高崎算数スタイル5+30+10」 <input type="checkbox"/> 「8つの工夫」 (反復・視覚化・音声化・動作化・明確化・個別支援・学び合い・賞賛/称賛) <input type="checkbox"/> 「高崎学び合いモデル」 <input checked="" type="checkbox"/> 「高崎スタイル10の約束事」 (⑥) 番
実践内容	<p>【教科】：算数科、国語科、道徳科など 【内容】：タブレットのアプリのルーレットを活用し、多くの児童に発表の機会を与えるようにした。 【成果(○)や課題(●)】</p> <p>○ 発表の際に、挙手だけでなくルーレットを活用することで、より多くの児童に自分の考えを発表する機会を与えることができた。</p> <p>● 自分の考えに自信をもてない児童もいるため、ルーレットを活用する前に、ペアやグループで、意見の交流をする必要がある。</p>



各学年の実践

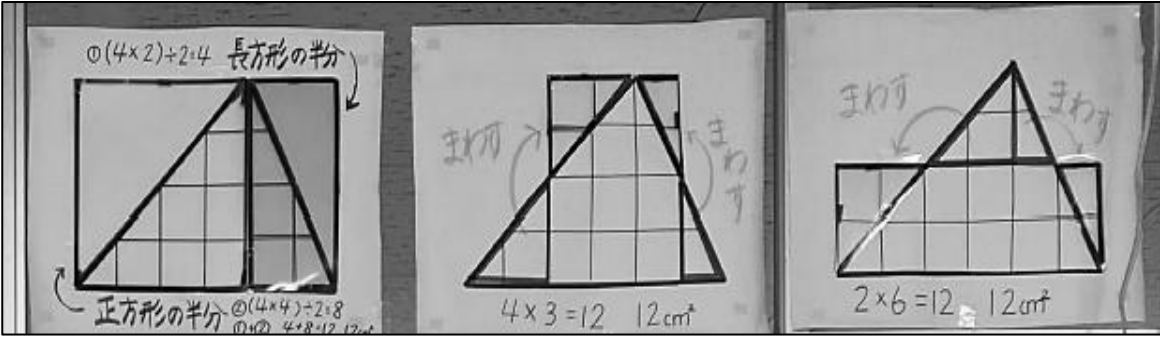

学年	第4学年1組
研究との関連	<input type="checkbox"/> 「高崎算数スタイル5+30+10」 <input checked="" type="checkbox"/> 「8つの工夫」 (反復 視覚化 音声化 動作化 明確化 個別支援 学び合い 賞賛/称賛) <input checked="" type="checkbox"/> 「高崎学び合いモデル」 <input checked="" type="checkbox"/> 「高崎スタイル10の約束事」 (①) 番
実践内容	<p>【教科】：算数</p> <p>【内容】：① 「8つの工夫」では、反復・音声化に重点的に取り組んだ。主に、授業の導入段階で、前時の学習の振り返りをする際に多く用いた。</p> <p>② 発表や小グループでの話し合い活動時は、「高崎学び合いモデル」を用いて発言するようにさせた。特に、順序を表す言葉や発言者への反応の部分を活用した。</p> <p>③ 「高崎スタイル10の約束事」では習熟問題に取り組む際に自力解決の可否について意思表示をさせてから、必要に応じて児童同士の教え合いをさせた。(①)</p> <p>【成果(○)や課題(●)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自力解決に対する意思表示をさせてきたことで、学習問題解決に向けて、積極的に試行錯誤をしながらも問題解決に取り組む姿が見られるようになった。 ○ 必要に応じて教え合いを行ってきたことで、教える側の児童の理解が深まった。 ● 単元によっては、学級全体の理解と定着が十分でないものがあったため、補充を行う必要がある。




学年	第4学年2組
研究との関連	<input type="checkbox"/> 「高崎算数スタイル5+30+10」 <input checked="" type="checkbox"/> 「8つの工夫」 (反復 視覚化 音声化 動作化 明確化 個別支援 学び合い 賞賛/称賛) <input type="checkbox"/> 「高崎学び合いモデル」 <input checked="" type="checkbox"/> 「高崎スタイル10の約束事」 (⑥) 番
実践内容	<p>【教科】：算数</p> <p>【内容】：前時の復習の時間で反復学習を行った。 挙手した児童の意見のみでなく、意図的指名を効果的に使った。(⑥)</p> <p>【成果(○)や課題(●)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ できる実感があることで、前向きに学習に取り組もうとする児童が増えた。 ○ 必要に応じて教え合いを行ってきたことで、教える側の児童の理解が深まった。 ○ 自分の考えをもって学習に取り組む児童が増えた。 ○ 意図的指名を行うことで、自ら話し合いに取り組む姿が多くみられるようになった。 ● 単元によっては、定着が不十分なこともあるなど、個人差が見られた。 ● 反復学習が児童によっては早く終わるなど、内容の工夫が必要だと感じた。



各学年の実践

学年	第5学年
研究との関連	<input type="checkbox"/> 「高崎算数スタイル5+30+10」 <input checked="" type="checkbox"/> 「8つの工夫」 (反復・ <u>視覚化</u> ・音声化・動作化・明確化・個別支援・学び合い・賞賛/称賛) <input type="checkbox"/> 「高崎学び合いモデル」 <input type="checkbox"/> 「高崎スタイル10の約束事」 () 番
実践内容	<p>【教科】：算数科 【内容】：既習事項を壁面に掲示した。</p> <p>【成果 (○) や課題 (●)】 ○ 前時の学習内容を確認しながら問題を解くことができるので、定着が十分ではない児童の主体的な学びも促すことができた。</p> 
学年	第5学年
研究との関連	<input type="checkbox"/> 「高崎算数スタイル5+30+10」 <input checked="" type="checkbox"/> 「8つの工夫」 (反復・視覚化・音声化・動作化・明確化・ <u>個別支援</u> ・ <u>学び合い</u> ・賞賛/称賛) <input type="checkbox"/> 「高崎学び合いモデル」 <input type="checkbox"/> 「高崎スタイル10の約束事」 () 番
実践内容	<p>【教科】：算数科 【内容】：ペアや全体での話し合いによる学び合いの場の設定</p> <p>【成果 (○) や課題 (●)】 ○ ミニ先生の活用により、児童の説明する力が向上した。また、分からない問題があったときに、自ら「教えて」「分からない」と言うことができる児童が多いため、説明する側も聞く側も意欲的に学ぶことができた。このミニ先生の活動は、個別支援にもなっており、限られた時間で多くの児童を支援することができた。</p> 

各学年の実践

学年	第6学年1組
	<input type="checkbox"/> 「高崎算数スタイル5+30+10」 <input type="checkbox"/> 「8つの工夫」 (反復・視覚化・音声化・動作化・明確化・個別支援・学び合い・賞賛/称賛) <input type="checkbox"/> 「高崎学び合いモデル」 <input checked="" type="checkbox"/> 「高崎スタイル10の約束事」 (②、⑥) 番
	<p>【教科】：算数科</p> <p>【内容】：問い返しや切り返しをして、教師の言葉を聞く習慣を付けた。(②) 挙手した児童の意見のみで、授業を進めない→意図的指名を効果的に使った。(⑥)</p> <p>【成果(○)や課題(●)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業の中で『なぜそう考えたのか』という根拠を問う切り返しを行うことで、根拠を明らかにして考える習慣付けを行うことができた。集団思考や全体での発表のときに、「理由は、～だからです。」という発言が児童からできるようになった。 ○ 「〇〇さんが言ったことが言える人？」と問うことで、教師だけでなく友達の発表を真剣に聞こうとする姿勢が見られる児童が増えた。 ○ 意図的指名を入れることで、いつ指名されても答えられるように、一層集中して授業に臨む姿が見られた。 ● 問い返したり意図的指名をしたりするなど、いずれも「教師の仕掛けからの行動」となる状況がまだあるので、児童同士のみでも更に意識できるようにしたい。 

学年	第6学年2組
	<input type="checkbox"/> 「高崎算数スタイル5+30+10」 <input type="checkbox"/> 「8つの工夫」 (反復・視覚化・音声化・動作化・明確化・個別支援・学び合い・賞賛/称賛) <input type="checkbox"/> 「高崎学び合いモデル」 <input checked="" type="checkbox"/> 「高崎スタイル10の約束事」 (③) 番
	<p>【教科】：算数科</p> <p>【内容】：めあては、児童が自分でまとめを書くことができるものにした。(③)</p> <p>【成果(○)や課題(●)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 焦点化しためあてにすることで、自分の言葉を使ってまとめを書くことができた。 ○ 本時の学習を一言で説明することができるようになった児童が増え、振り返りの時間でも意欲をもって振り返ることができた。 ● 学習に対する意欲の差が見られるため、算数科に対して苦手意識のある児童が進んでめあてやまとめを書くことができなかったこともあった。 ● まとめが書きやすいようなめあてにするために、めあてを立てるまでの導入に時間がかかることがあった。 